

(1)

小田高同窓会 会報『八幡山』第28号



創立明治33年(1900)
開校明治34年(1901)
神奈川県第二中学校



題字:大島修穂(雅文)さん(高32) 背景:桜林と上庭の写真

第28号

神奈川県立小田原高等学校
同窓会 桜友会

発行者 会長 小野 康夫
編集者 広報委員会
委員長 橋口 正人

住所 〒250-0045
小田原市城山3-26-1
電話・FAX 0465-20-3281
メールアドレス
kenyukai@odako.org



「今を『創る』小田高健児」をメインテーマに 総会・桜友祭（小田高ホームカミングデー）

5月15日、総会・桜友祭（小田高ホームカミングデー）を開催しました。コンサートとシンポジウムの模様を二つの会議室に生中継する「パブリックビューイング」も実施。

来場者800名を超えて、盛況でした。



高18の皆さんを中心に受付を担当

◆卒業の節目を祝う—開会式

開会式では全員で校歌斉唱。卒業の節目を迎えた期（高8、18…）の方々に記念の小田高絵葉書を贈呈。池田勉氏（高8常任幹事）に代表して受け取っていただきました。



記念品を受け取る池田氏

◆熱心かつ円滑に一同窓会総会

総会の参加者は約100人。小野同窓会長（高13）と反町新校長の挨拶に続き、鈴木紀雄氏（高19）の進行で議事が進められました。

4月17日に開催した常任幹事会の審議結果（27年度会務報告・事業報告、同一般会計決算、財産台帳・会計監査結果、28年度事業計画・会計予算、常任幹事会議事録）について会長から報告。引き続き、総会の協議事項として吉川伸治氏（高23）の副会長就任と総会日程の一週



新設の教材展示室



同窓会総会

◆教材展示室オープニング企画展も

明治33年の創立から昭和20年代の新制高校への移行まで、神奈川県立第二中学校と小田原中学校で使用した各教科の教授用具、教科書、生徒のノートを紹介する教材展示室を開設。隣の校史展示室では企画展「戦争と小田原中学」を開催。162名の来場でした。



森田由子さん

◆トークの前に—八幡山コンサート

午後は森田由子さん（高48）のピアノリサイタルで開幕。「クラシックを親しみやすく」の思いを込めておなじみの名曲を熱演。アンコールを求める拍手が鳴りやまないまま、時間の都合で終演せざるを得なかつたのが心残りでした。



鎮遠の鐘を鳴らしてスタート

間前倒し（母校の試験週間への影響軽減のため）について会長が説明。原案通り承認を得ました。

◆講師も参加—キャンパスツアーワークshopも人気のキャンパスツアー。今年はシンポジウムの講師も加わり、熱心に校内を見学しました。

◆賑わいの一曰一例の催事
模擬店は「東華軒」、「だるま」に
初参加の「セキグチベーカリー」。
ティーパーティーには高32同期会
が手作りのクッキーを提供。（調理師も
の際に男性有志が「まかない」で応
援した由。）シンポジウムの講師も
加わり歓談。全員で「冠たる伝統」
と「校歌」を齊唱し閉会しました。



比奈の会

◆作品展も開催——グループ参考企画同期や部活の仲間が集うグループ参考企画。本年は高5・11・18・27・32・39・48各同期会、水泳部OB会「桜泳会」に加え、「椎野聖動物画展」、「オリジナルフォト研究会」、「比奈の会」が作品展を開催。

◆自玉企画—経営者シンポジウム
コンサートの盛り上がりに引き続
いて開催。小田高放送部OBと専門ス
タッフの協業で実現した生中継も二
会場で熱心に視聴いただきました。
(詳細は別稿をご覧下さい。)

小田高健児の心意気を感じあえる
一日だったと思います。

試験週の直前にもかかわらずご協力をいただいた母校と校内幹事の皆様、広告にご協賛いただいた皆様そして準備の段階からご協力いただいた関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

渡部直樹(高19)
慶應義塾
當任理事

A black and white portrait of a middle-aged man with dark hair and glasses, wearing a dark suit, white shirt, and patterned tie. He is looking slightly to his left with a neutral expression.

高19同期の大学人三氏によるシンポジウムを開催します。次回の桜友祭（小田高ホームカミングデー）は29年5月14日に開催します。

29年度の
メイン企画テーマは
「未来からの伝言」
あした



井出 光 (高19)
首都大学東京
名誉教授



トークは続く

を思い出します。そして、私が圧倒されたのは学校に着いてから体育館に掲げられている山縣有朋の書「至誠無息」、そして東郷平八郎の書「堅忍不拔」の校訓を見たときです。「このような高校が全国に何校あるだろだ」と感じると同時に、「この私が

市街そして相模湾が一望できます。階段を上り、疲れて振り返ると小田原段を上り、また歩きながら一歩一歩階段を上りきるとそこには緑豊かな森があり、その中に小田原高校がありました。「なんて素晴らしい環境にある高校だ」と強く感動したこと思い出します。そして、私が圧倒されたのは学校に着いてから体育館に掲げられている山縣有朋の書「至誠無息」、そして東郷平八郎の書

28年4月1日付で小田原高校に着任しました反町聰之（そりまち聰之とし）と申します。同窓会の皆様に心より感謝申し上げます。今後ともよろしくお願ひいたします。

本校は文教として三枚目の学校で

この伝統校の校長なのか」という不安と緊張を今ではつきりと覚えています。

人生を考える大変良い機会になつたと強く感じています。発端は、私がホームカミングデーでお話を伺い、今の現役の生徒には非話をしてもらいたいと思つたことです。厚かましいと思いましたが、お三方に趣旨を説明しましたところ、後輩の為にと快諾して頂きました。まさに他校にない小田原高校の財産だと思いまして。それも先輩から後輩に直接繋がる伝統を今強く感じています。

ス株式会社の磯崎功典社長（高24）14日に株式会社関電工の山口学会長（高16）、さらに25日にはヤマト・ホールディングス株式会社の瀬戸薰相談役（高18）、が来校し各学年の生徒に対して講演をして頂きました。どの講演も生徒は熱心に聴き、今後の

現在 小田原高校の校長として
七ヶ月目になりますが、今ではその
伝統に改めて感謝しています。こ
の10月7日にキリストホールでイング

**「伝統ある
小田原高等学校に
着任して」**

桜友祭・一流企業経営者シンポジウム

大盛況、感激を呼んだイベント

「小田高にはこれだけすばらしい人材が揃っていたんだ！」

多くの同窓生がそのように感ずることが出来たのが、今年の桜友祭でした。「今を『創る』、そして明日に向けて」と題された「経営者シンポジウム」が開催されたのです。



これだけのメンバーが一堂に会したわけですから、非常に大きな関心を呼び、会場の小田高視聴覚室（集会館ホール）は開始前から満席で、入りきれない方々は二つの会議室に準備したモニターによるライブ映像には、同窓生の協力でカメラ4台を駆使した本格的なすばらしい映像が映し出されていました。



パネリストとして、富士ゼロックス（株）代表取締役会長の山本忠人さん（高16）、（株）関電工代表取締役会長の山口学さん（高16）、ヤマトホールディングス（株）取締役相談役の瀬戸薰さん（高18）、キリンホールディングス（株）の4名の社長経験者が登壇し、フジテレビ報道局・シニアコメンテーターの鈴木暁さん（高32）が司会を務めました。

◆会社を変える力とは何か

次に一つ目の討議テーマである「会社を変える力とは何か」について、企業人としての経験をもとに話をされました。

富士ゼロックスの山本さんは、社長就任時に「複写機を卒業する」と宣言しました。機械（複写機）を売るために注力しすぎると、「顧客サービス」がおろそかになる、自分たちがすべきなのは「顧客の問題解決だ」、「自分たちが変化し、会社を変えよう」とリーダーシップを發揮、「複写機卒業」というインパクトの強い言葉が、社内変革にも大きな影響を与えたようです。



モニターによるライブ中継



富士ゼロックスの山本さん

関電工の山口さんは大学卒業後に東京電力に入社し、その後日本移動通信に出向し、更に2005年から関電工に移り経営を担ってきました。異なる業種を経験された山口さんは、「つらい仕事が私を大きく変えた」「上に立つ者が現場を大事にし、現場の声を聞かなければ駄目」「危機感を持つことが会社を変える力になる」「変えようとする情熱が大事」など多くの名言がありま

急便誕生からすべての歴史を知る瀬

A black and white photograph of Shigenobu Matsubara, a man with glasses and a suit, speaking at a podium. A nameplate in front of him reads '松井重信' (Shigenobu Matsubara). There is also a nameplate to his right that appears to read '澤崎功' (Kōzō Sasaki).

ヤマト・ホールディングスの瀬戸さん

「クロネコヤマトの宅急便」で知られるヤマトホールディングスの瀬戸さんは、競争社会での企業の方について触れ、「現状を維持しようとすると負ける。常に新しいものを目指してサービスの仕組みを作る」、「現場の担当者がいかにお客様の声を聞き、上層部がそれをどう吸い上げるかが大事」と、自身が開発に関してスキヤ宅急便やゴルフ宅急便が誕生した秘話などを明かしました。宅

関電工の山口さん

した。

戸さんならではの話でした

後に東日本大震災に遭遇しました
シンポジウムの席上、関係者として
地域・社会へのお詫びをしたあとで
次のように語りました。

人生の中で大きな力になつた。人と
の出会いを大切にして欲しい」と曰
頃から大切にしている人間関係の重
要性を強調されました。磯崎さんは
「人生に無駄なことはひとつもない。
つらい経験をしても、それがやがて
生きる」、「修羅場の経験は自分を鍛
える。この先予測できない時代が来
るかもしれないが、過去の歴史に学

◆苦境の中での決断



キリンホールディングスの磯崎さん

現場の声をトップが拾つて実現する事も大事」など、経営者としての考え方を語りました。今回のイベントの準備段階で磯崎さんにお会いしたとき、社員の方々とよく話をされていた姿が思い出されました。

んは「キリンを戦う集団に変えるためにはどうするか」の問いに対しても、「社員一人ひとりがオーナーシップを持ち、自身が会社の経営者だという思いで考えることが大事」と語り、更に「トップの考え方いかにして社員に伝えるか。正しい戦略でも現場が理解できなければ動かない」（逆に

人生の中で大きな力になつた。人と

◆ それぞれに苦労をしながら社会的地位を築いた方々ばかりですのでも一つ一つの言葉に重みがありました

今回の企画は、パネリストの顔ぶれや討論のテーマから、多くの人の関心と支持を集めることができ、大盛況のうちに終了しました。

企業人としての経験談や決断力、そして若者へのメッセージは、同窓生以外の多くの方からも高い評価を得ることができたと思います。

準備活動は卒業後五十年の当番学年に当たる高18が中心的役割を果たしました。多忙な経営者のスケジュールの確保も含め1年以上前から始めていますが、他元で活躍する

同窓生の協力で、ポスターの掲示や
パネリストを紹介したパンフレット
やチラシの配布による十分な広報活
動が展開され、シンポジウムへ向け
た期待感を増すことができました。

こうした同期生の積極的な協力ぶりは大きな宝となりました。

◆若者たちへのメッセージ

トークの最後は、4人のパネリストから母校の後輩など若者へのメッセージで結ばれました。

して若者へのメッセージは、同窓生以外の多くの方からも高い評価を得ることができたと思います。

準備活動は卒業後五十年の当番年に当たる高18が中心的役割を果たしました。多忙な経営者のスケジュールの確保も含め1年以上前からうらやましいのですが、他元で活躍する時

の、これ、この
女性の方々の、お手元でご覧になれる、
同窓生の協力で、ポスターの掲示や
パネリストを紹介したパンフレット
やチラシの配布による十分な広報活
動が展開され、シンポジウムへ向け
た期待感を増すことができました。
この間、同窓会の責任者の方々、あわせ
て、この間、同窓会の責任者の方々、あわせ

A large, dark bronze bell hangs from a metal frame within a wooden bell tower. The bell has some inscriptions visible on its side. The background shows a building with windows.

石島洋一・大場崇夫(高18)



司会のフジテレビマンテーの鎌木さん



参加予定の在校生は、応援団OB会
有志の往時を偲ばせる指導の下、小
田高武道館に於いて8月27日と9月
17日の2回練習を行いました。

権利委員と在校生が参加

久々に朝から好天に恵まれた15日の土曜日、昨年より1校多い県立高校28校の卒業生が在校生と共に母校の校歌・応援歌を齊唱する「青春かながわ校歌祭」が横浜・桜木町の県立青少年センターにおいて開催されました。

10月15日（土）
28校同窓会が集合

第11回青春かながわ校歌祭に参加

校歌祭委員会委員長 渋谷賢一（高17）

出演者総数は、卒業生1428名
在校生435名、教職員等161名
の計2024名。1校平均72名だつ
とのこと。
因みに、昨年（第10回）の出演者
総数は、1963名でした。

小田高麗友会は、11回連続の参加
「校歌祭」は、「かながわ校歌振興
会」が主催、県教育委員会の共催の
もと、実行委員会を設置し開催され
ています。今回の実行委員会は、神
奈川工業高校同窓会（神奈川工業
会）が中心です。

小田高樺友会は、11回連続の参加
「校歌祭」は、「かながわ校歌振興
会」が主催、県教育委員会の共催の
もと、実行委員会を設置し開催され

応援歌・校歌を
声高らかに齊唱

参加高校一覧
(出演順・同窓会名駆)

商工高校／希望ヶ丘高校／秦野高校／
港南台高校／吉田島総合高校／
横浜国際高校／秦野総合高校／新城

ケルーシングは、山下・本牧・大黒埠頭を巡り、また全長860mの横浜ベイブリッジの下を航行するなど海の名所を堪能するとともに、さわやかな浜風に吹かれて心地よいひとときを過ごしました。

出演終了後、会員42名が山下公園から旅客定員541人の「マリーンシャトル」に乗り、秋晴れの中、横浜港を一周する1時間の船旅を楽しみました。

横浜港をクルージング

出演者全員の顔には、やり遂げた満足感と清々しい笑みが溢れています。

樺友会員・在校生参加者数
卒回別等一覧

3曲目の「エチャ文節」では、出演者全員が肩を組み列ごとに左右に身体を動かしながら歌い、校歌祭の名物ともなっています。

高校／横浜修悠館高校／小田原高校
／平塚農業高校／横浜翠嵐高校／平

次回（第12回）厚木で開催

日 程
場 所
実行委員長選出同窓会
29年9月30日(土)
厚木市文化会館

来年も多くの会員の皆様と一緒に
歌えることを楽しみにしています。



コーディネーター牧林功さん（手前）



恒例の小田高自然環境フォーラムが、28年6月19日、八幡山の母校・集成館ホールで開かれた。

第7回 自然環境フォーラムを開催 「ナニ！不思議な自然のしくみ」



作家小田淳さん

地震を予知する魚たち

最初の講師は、小田原在住の作家、小田淳さん。会場の観客は、地震!! ナマズと思ったようだが、早川の渓流釣りでは評判の「釣りの名手」小田さん、「ナマズばかりではあります」と、魚が地震の前兆現象で見える奇妙な行動を紹介した。「その現象を感知する能力が人間にはない」と、警鐘を鳴らした。

【恐るべきサカナの能力】
例えれば魚は音に敏感という話。西欧やロシアでは魚の産卵期は鐘を鳴らすことさえ禁止されているという。生まれつき近眼の魚類は、嗅覚や味覚で捕っている。サメは500メートル先の血の匂いを感じるが、腐った肉は酢酸アンモニウムの嫌な臭いで見向きもしない。サケが生まれた川に産卵で遡つてくるのは、そこの川の匂いを故郷と記憶しているからだ。これはサケの鼻孔を塞ぐ実験で裏付けされた。

【地震発生、サカナの異常行動の事】
○寛永2年(1622)「奥丹後地震」(M7.6) ≈ 12時間前に宮津城外濠にコノシロがたくさん浮いた(海のサカナなのに?)
○大正12年(1923)「関東大震災」(M7.9) ≈ 1か月前に川崎市内でナマズが異常繁殖。1週間前の鎌倉・材木座海岸でハゼが異常繁殖。1日前の相模湾・葉山海岸に深海魚が現れた。2時間前に相模川でアユ、ハヤが大量に獲れた。
○昭和53年(1978)「宮城県沖地震」(M7.4) ≈ 10分前に福島県喜多方市の釣り堀でコイ100匹が騒いだ。青森県泊村ではニシキゴイ10匹が跳ねだした。

小田さんの発表はないが、手許の資料では、平成7年(1995)の「阪神淡路大震災」(M7.2)での前兆現象は1519事例。うちサカナ類で68事例の異常報告がある。

【植物さん、緑色はお嫌い?】
講師の小暮克彦さん(高12)は、テレビ東京と系列局BSジャパンで活躍した生粋のTVマン。カラーTVから衛星TVの時代になると、更にきれいな色を伝える技術革新を経験した。地球の隅々にまで出かけ、カメラの目を通して見る自然界に魅了された。触発されて森林インストラクターの資格まで取得したという。



小暮克彦さん

【大地震の周期発生説は?】
安政元年(1854)「東海・南海地震」(M8.4)の翌日には北陸・山陽・山陰で同規模の地震が起きた。ことしの熊本地震でも2日間にM6.5とM7.3の大地震があり

いた。だから地震周期説は疑問だと言う。小田さんは言う。「家で飼っているキンギョが暴れ出したら、地震が来ると用心して下さい」と。ソには原生林は無く、国内の森林はすべて植林だという。それも最近この植林政策が失敗しているらしい。国によって森林対策は様々だ。

【虹の色は日本なら7色、ではドイツは?】

花の色はどのくらい? 自然界では無限大だという。でも一般的には7色に分類できるそうだ。日本でのベスト3は白色、黄色、紫と青色。赤は第4位で10パーセントどまり。アジサイ(紫陽花)はアントシアニンとアルミニウムの吸収で色が変化するという。では虹の色は? これは国や人種によつて違うそうだ。日本では虹は7色(赤、橙、黄、緑、青、藍、紫)だが、アメリカやフランスは6色(藍がない)、スウェーデンも6色だがこちらは藍があつて紫がない。ドイツオランダは5色(赤、黄、緑、青、紫)だそうだ。知つていました?

【演題の「植物はミドリが嫌い」の答えは】

小暮さんはこう言つた。「植物は、緑の光は吸収しないで反射、通過させてしまう。嫌いだからです。そこでは、主に青と赤の光と炭酸ガスを水で光合成して成長する。紫外線や赤外線もダメなんです。だからアンチアニアなどを合成して防御しているんです」

小田高生物部からの活動報告

ムシの研究観察である。
【クマムシはどこにでもいる?】

現役の小田高生の登場だ。稲葉晃誠(2年)、瀬戸寛人(2年)、小泉嶺以(2年)の諸君が講師。小田高生物部は部員10人。1年次と2年次が5人ずつ。水槽内での光合成で生育するメダカ、ドジョウなどの生態系実験、白梅大学の科学コンテストへのアプローチなどが活動内容だ。この日の発表は、宇宙科学で国際的に注目されるクマムシの観察記録である。



小田高生物部員の発表

クマムシは普通、市街地のコケなどに棲息している。だが超低温、超真空、放射線にも耐性をもつという驚きの生物である。小田高生たちは八幡山・小田高校舎の陽当たりのいい場所でコケを採取。そのコケを黒いネガ紙に貼り付け、封筒に入れて乾燥させた。これでコケについているはずのクマムシは乾眼状態になるはずだ。そのコケを今度はシャーレに置き、水を差す。一晩たつとクマムシは動き出す。それを顕微鏡で観察するのだ。

生物部員たちは「今後もコケの採取を続け、現在2種しかしていないクマムシ観察の機会を増やす積り」と今後を語っていた。

鴨の命は、里の水田でつながっている!

この日最後の講師で登場したのは伊豆川哲也さん(高39)。伊豆川さんは毎年、この自然環境フォーラムに視聴者として参加、勤め先の総合環境企業では環境部で活躍中だ。日本野鳥の会西湘ブロック会員、環境省自然公園指導員、おだわら環境市民ネットワーク理事…と活動範囲は広い。この日は自ら代表の「足柄冬みず田んぼプロジェクト」の話である。体長1ミリ未満、4つの脚を持つ緩歩動物。近い親せきにはカニやエビといった節足動物、カギムシなどの有爪動物がそつだ。そのクマ

水田があればカモも、人も大喜び!

冬の田んぼに水が張つてあると、飛来するカモたちはドジョウやカエル、トンボの幼虫(ヤゴ)などを求めて水田が採餌場になる。水田を動きまわれば雑草の制御も進む。そうなると自然保護貢献度の高いブランド米のコメ作も期待出来る。成功事例では、宮城県大崎市の「雁の里米」、兵庫県豊岡市の「コウノトリの郷米」、石川県加賀市の「加賀の鴨米

ともえ」がある。

【カモが激減してしまった】
伊豆川さんがパワー・ポイントで映したデータでは、箱根・芦ノ湖のカモ類は、1985年(昭和60年)から2年後の正月にかけて1600羽超の観察ができた。それが30年後の2015年(平成27年)の1月時点では100羽程度。6パーセントまでの激減だ。理由は採餌場になる水田が無くなっているからである。



伊豆川哲也さん

NPO法人「小田原食とみどり」はコメ耕作地の環境変化を試みた。場所は小田原市上曾我。冬の田んぼにはヒル寝だ。天敵さえいなければ結構なご身分だが、世の中そうは甘くない。コメ農家の耕作変化で、冬は乾田方式が進み田んぼに水を張ることが少なくなった。水のない田んぼにはカモは降りない。平たい嘴では、機械化耕作で田んぼの土中に入つてしまふ落ちモミなどを餌として掘り起こせないからだ。

伊豆川さんは言う。「せめて、冬の田んぼに1センチでもいいから水を引き入れてください」と。

たらしい。

伊豆川さんは言つた。「お陰さまで、このフォーラムは定着してきた。なのに、何故か今年は視聴の来場者が少くない。でも、このフォーラムの素晴らしいところは、同窓会活動に在校生たちが一緒に(講演などで)行動していることだ」。

第7回小田高自然環境フォーラムの開幕に先立ち、小野康夫・小田高同窓会権友会会長(高13)が挨拶しました。

★



剣持雅章 小田高教頭

教頭の剣持雅章先生(高30)は小田高の校庭の自然環境は自慢できる。百段坂は改修されて131段になったが、是非歩いてみて…とユニークな母校ガイドの挨拶をした。



小野康夫 小田高同窓会会長

お知らせ



第7回小田高自然環境フォーラムの講演内容と会場風景は、小田高同窓会「権友会」ホームページからリンクでご覧いただけます。「小田高生物部OB会」もしくは「しろだも」でHPの検索も可能です。次年度以降のフォーラムの講師を募集しています。詳細はHPで。

陸軍参謀を務め、戦後は防衛庁戦史編纂官として『大本営陸軍部 大東亜戦争開戦経緯』を刊行した。新田善三郎（中29）は戦艦「大和」主砲発令所長、大本営海軍参謀を務めた。一方、多くの卒業生が召集に応じ、戦地へ赴いた。軍関係の学校へ進んだ者も含めて、昭和12年から20年までに、117名が戦死・戦病死した。特に中学33回卒業生（13年卒）は31名も亡くなっている。先生は学校教練を指導していた紺野篤義先生と近藤秀雄先生が戦死し、生徒は日本光学工業川崎製作所で勤労動員中だった4年生の鍵和田武男（中41）が空襲の機銃掃射により亡くなった。

創立以来、成績優秀な生徒たちは海軍兵学校や陸軍士官学校などへ進学し、軍人として活躍した。永見俊徳（中1）は留守第55師団長・陸軍中将、元泉威（中1）は第5根拠地隊司令官・海軍少将、山口次平（中5）は施本総務部長・海軍中将、勝俣靜三（中7）は第101航空戦隊司令官・海軍少将、古宮正次郎（中8）は歩兵第29聯隊長・陸軍少将を務めた。また、原四郎（中24）は大本營

企画展
から

戦争と小田原中学

国分基地から発進し、九州南東海域で米海軍機動部隊に突入した。24歳だった。



勤労動員中に亡くなった 鍵和田武男（中41）

昭和19年から始まつた特別攻撃隊では、海軍の熊沢孝（中33）と陸軍の新井利郎（中34）が戦死した。熊沢孝は昭和13年に本校を卒業すると第2期の甲種飛行予科練習生を志願した。これは搭乗員をより多く育成するため、12年に設けられた制度だった。熊沢は中国や南洋方面の作戦に従軍し、鹿島海軍航空隊の教員となり、19年2月に結婚した。しかし、翌20年3月20日、神風特攻駆逐艦水部隊彗星隊、艦上爆撃機「彗星」18機の隊長として、鹿児島県の第一

油絵は、美術の湯川治郎先生が優秀な作品として保存し、今も校長室に飾られている。昭和9年、本校から日本美術学校（現武蔵野美術大学）へ進学し、卒業後ソウルの三中井デパート装飾部に勤務していたが、応召し、17年6月9日、中国中部地方で戦死した。25歳だった。戦地の様子を書き両親へ送った葉書が残されている。



特攻戦死者 能沢 考(由33)



特攻戦死者 新井利郎 (中34)

く一助となりましたら幸いです。これら
の教材は校史資料としてだけでは
なく、本県中等教育史の資料として
も、貴重なものと言えましょう。開
設にあたり、多くの方々のご協力を
いただきました。小田原市立図書館
からは121冊もの明治・大正期の
教科書をご提供いただきました。こ
こにご支援くださいましたみなさま
へ厚く御礼申し上げます。

樺友祭の5月15日、教材展示室をオーブンしました。明治33年の創立から昭和20年代の終戦・新制高校実施まで、神奈川県第一中学校・県立小田原中学校・同校併設中学校等で使用した各教科の教授用具、教科書、生徒のノートなどを紹介しています。明治・大正・昭和の教材をご覧いただき、各時代にどのような教育を行っていたのか、お考えいただ



教材展示室

新入生への展示室公開は、23年度より母校のご理解・ご協力のもと、新入生に小田高の歴史を学んで小田高生としての自覚と誇りを持つもらうため、4月に校史展示室をご覧いただいています。この公開は、最も大切な公開行事の一つとして実施しています。本年度も4月6日と8日に担任の先生が自分のクラスを引

昨年度の戦後70年展は工場への勧業員や墨塗り教科書など、生徒に焦点を当てましたが、本年度の企画展「戦争と小田原中学」は、美術部員だった卒業生が戦地を描いて親へ送った絵葉書や、特攻隊員が想いを記した飛行訓練日誌など、卒業生まで範囲を広げました。昭和12年から20年までに、117名の卒業生が戦死しています。当時の写真と品物を通して、平和の意義をより深くお考えいただけたら幸いです。



明治時代の教科書

校史展示室から

教材展示室の開設

率され、1年全9クラス、計329名が見学されました。資料委員がご入学のお祝い、展示室が創立百周年記念に開設されたこと、大観の富士をご覧いたくことを申し上げました。新入生たちも先生方も熱心にご覧になり、大変充実した行事でした。



物理実験機器

PTA講演会の11月19日は、大多数の保護者が3年間に展示室をご覧になつてないことから、本年も保護者対象に公開し、大勢の保護者が来場されました。

学校見学会の7月16日、学校説明会の8月27日、28日、10月29日、12月11日は、小田高を志望する中学生と保護者を対象に公開し、多数が来場されました。

※展示室は毎週火曜日10時～14時にご覧になります。土日にご希望の方は問い合わせ先までご連絡ください。

高橋浩先生・奥津裕先生へのインタビュー

母校に昭和23年から44年まで21年間在職された数学の高橋浩先生（中38）に、27年10月31日と12月20日の二回にわたり、樺友会室（同窓会事務室）でご在学・ご在職中のお話をうかがいました。

38歳の5月15日は、教材展示室をオープンし、162名が来場されました。阿部孝校長が大正11年より初代校長を務めた東京都立新宿高校（旧制東京府立第六中学校）の朝陽同窓会の西出事務局長様と百周年記念事業実行委員会の大池事務局長様が来場されました。今年も窓梅会が窓梅会資料室を公開されました。また、母校に昭和40年から平成6年まで29年間在職された世界史の奥津裕先生（高2）に、27年10月12日



高橋浩先生へのインタビュー

室名板「教材展示室」「図書展示室」の設置

28年度に「教材展示室」を、29年度に「図書展示室」を開設するため、27年11月3日に室名板「教材展示室」「図書展示室」をそれぞれのドアの上に設置しました。

校史展示施設設置校（同窓会）連絡会

この連絡会は、展示室を通して母校の発展に寄与するため、展示室を開設している小田高、横浜平沼高校、横須賀高校の同窓会が協力して

24年4月に発足しました。第6回連絡会を27年11月14日に横須賀高校セミナーホールで開催し、県公文書の取扱制度、学校資料の収集・保存について有意義な意見交換を行いました。28年度は3校の企画展が戦後70年展の継続で共通テーマとなりましたので、連絡会が8月に県庁記者クラブへ3校の企画展資料をまとめて提供しました。

・第39回・第40回小田高祭ポスター（昭和62年・63年）等（杉崎健司様（高40）・杉崎綾子様（高42）より）

・樺和会・樺友会・樺栄会・樺光会資料等（関野純一樺友会副会長（高23）より）

・第26卒業アルバム、第1～6・8・11・15・16回・平成15・16年度の小田高祭プログラム、大正期の学習成績通知表など。問い合わせ先までご一報ください。

問い合わせ先

主な寄贈資料のご紹介

- 特攻戦死者 新井利郎（中34）所蔵資料（新井達郎様より）
- 大正12年～昭和9年の教科書等144点（林恭平様（平成27年度2年次生）より）
- 清国甲鉄艦「鎮遠」の模型、戦没ペナントの展示などをいました。

「サッカーボランダ遠征」の写真・校史展示室には114名が来場されまし。

1年次保護者懇談会の6月17日と

校史展示室の情報はリニューアルされています。そちらもご覧ください。

P36 同窓会連絡参考参照



図書館閲覧室の「樺の葉文庫」

学院大学寄川条路教授より
・昭和45年～48年の教科書48冊（神保宗正様（高25）・神保淳子様（高25）より）
・箱根国寮関係資料（真澄会永森邦雄様より）
・卒業アルバム等（加藤隆二先生（中27年11月3日）より）
・相洋第33号（昭和17年）・高34卒業アルバム等（加藤隆二先生（中27年11月3日）より）
・仁親王日記（大正9年の翻刻（宮内庁書陵部編修課 内藤一成様より）
・書陵部紀要 第67号（「関院宮載贈った感謝状（複製）（小酒部晃久樺友会顧問（高10）より）
・県教委が米国ホイットマン高校へ

樺の葉文庫

「樺の葉文庫」は卒業生、在校生、旧職員、現職員、その家族の著書を集めたものです。平成元年、小田高が県下で初めて開設しました。小説、雑誌、画集、教科書など多岐にわたり、生徒は先輩の活躍を知ることができます。著書をお持ちでしたら、

小田高図書館へご寄贈ください。

卒回	著 者	書 名
高5	平倉 正	小田原史談 第243号
中39	小玉 利助	第十詩集 嘉怒哀楽詩集
高5	平倉 正	小田原史談 第244号
高26	井上 弘	戦争と民衆 第76号
高23	志澤 政勝	文学にみる港の姿 横浜港ものがたり
高5	平倉 正	小田原史談 第245号
中高全	富士フィルム樺友会	樺友 23号
中高全	小田高同窓会	青春かながわ校歌祭の10年
高10	小泉 鈴司	備中赤浜、ある郷土家の650余年
高37	布目 稔生	ブラジルの政治経済と日本のODA
高5	平倉 正	小田原史談 第246号
高26	井上 弘	知られざる小田原地方の戦争
高26	井上 弘	戦争と民衆 第77号
高25	勝俣 正次	冤罪 逆川事件 捏造された箱根用水の歴史

※27年9月～28年8月寄贈分

同窓会が作ったポスター



レース直後の松下選手

今回のオリンピック出場に際し、小田原高校関係者の方々をはじめ多くの方々に応援をしていただき、本当に力になりました。ありがとうございました。

リンピックではメダルが取れるようにまた日々精進していきたいと思います。
今後とも応援よろしくお願ひ致します。

実際に経験したオリエンピックといふ舞台は自分にとって夢のような場所で、選手村での生活、他国他競技選手との交流、競技場の雰囲気、世界トップレベルの走りなどを肌で感じることが出来ました。

リオデジャネイロオリンピックに出場して

ミズノトラッククラブ 400mハードル

松下祐樹
(高62)

第26回 小田中・小田高東京会

湯河原地区 小田高会

本会、昨年10月、創立30周年を迎

28年6月8日、四谷・スクワール
麹町に87名が参考。進行は沖山（高14）、常盤（高43）両会長人。
瀬戸新会長（高18）が「クロネコヤマトの満足創造経営」を講演。反町校長、湯河原小田高会・沓澤（高19）会長の来賓挨拶に続いて樺友会・津田副会長（高20）の音頭で乾杯、会食・歓談。石塚幹事（高13）、伊豆川世話人（高39）の話題提供後、全員が10グループで懇親。応援団OBによる歌謡の指導で応援歌・校歌を齊唱し閉会。

おります。これらを思うと必ず自己改革から始めなければいけないので
はと思っております。

28年4月の湯河原中学校からの本校への入学が数名となりました。卒業生が多い時に比べると半数以下です。同窓会としては将来を思うと在校生を叱咤・激励し頑張りを期待するほかありません。

握手で会長引き継ぎ



次回は29年6月7日(水)に四ツ谷駅前の「プラザエフ」で開催予定。

青空のことで町が見渡せる夢公園に町営のパークゴルフ場が完成まして、開会の期日など徹底できませんでしたが第一回大会を五月のチャレンジデーに参加として行いました。低価格とどなたにでも簡単にプレー

して頂ける行事と思われますので年数回は行えるのではと期待しております。

会長 齋澤隆哉（高9）

富士ファイルム桜友会

当会の27年度総会は、例年通り、4月に富士フィルム神奈川工場足柄サイトにて、開催しました。27年度の活動報告、次年度の運営活動計画、新役員体制「新会長 加藤寛徹（高11）」他を承認しました。又、会報「桜友23号」「表紙は、氏家一政（高12）さん撮影の富士山と上空のジェット雲の写真で、全頁A4版23頁の本格的なものです。」を配付しました。

27年度の活動としては、11月25日に鎌倉西部（極楽寺・成就院・御靈神社・長谷寺・大仏・内田正泰記念アートギャラリー）のウォーキングと6グループ（写真撮影・料理・パソコン・俳句・囲碁・ゴルフ）による同好会活動が、主なものです。

総会後の懇親会では、反町聰之小田原高校校長と小野康夫同窓会会长（高13）からご挨拶をいただきました。会員共々、楽しいひと時を過ごすことができました。最後に校歌を斉唱し、来年の再会を誓い、閉会しました。

事務局長 江木徹彦（高16）

横浜銀行
小田中・小田高会

当会は横浜銀行の行員と出向者を含むOBの、90名程の会員で構成される職域同窓会です。

今年度も10月15日に箱根湯本温泉郷ホテルおかげで一泊二日の年次総会を開催し、新たに加入了2名の新入会員を含めた約五十名が参加しました。

総会の冒頭、横浜銀行新百合ヶ丘支店の奥津正司幹事長（高35）が、「この総会は現役とOBが、小田中・小田高および横浜銀行という所属を同じくするもの同士で、時代を超えて共通の文化を分かち合える絶好の機会である」と、総会開催の意義を述べ、

廣澤雄治副会長（高27）から、「年に一度、老いも若きも一同に集合する貴重な交流の場である」と熱意の込もった乾杯の挨拶をいただき、総会は開会されました。

会の中盤で、前幹事長の横浜銀行執行役員石川学東京支店長（高34）から「マイナス金利化の厳しい金融環境ではあるが、新しいことにチャレンジし、今まで以上に精進して川村新頭取を盛り上げていきたい」という旨の熱く力強い決意表明があり、参加者各人がそれぞれの立場で、横浜銀行の業績進展に寄与していくたいとの思いを巡らしました。

また、当会の重鎮、出縄茂会員（高2）をはじめとする多くの諸先輩方から、往時の思い出話や社会人としての心得などを愛情あふれる言葉で語ついただきました。

会場は先輩後輩そして老若男女が

時代を超えて交流の輪を広げ、参加者全員が満足のいく総会を開催することができます。

最後に、高校時代応援団長の経験を持つ、山本博文会員（高36）による恒例のエールにより、参加者全員で校歌斎唱を行い、相互の無事と来年の再会、そして横浜銀行のさらなる発展を祈念し総会は盛況の内に閉会いたしました。

椎野公夫（高28）

小田原市役所 桜和会

小田原市役所桜和会は現在約280名の会員を擁しており、毎年開催している総会は、宿泊と市内日帰りを交互に実施しています。

今年は6月3日に「報徳館」を会場に28年度総会を開催し、新会員4名を含む140名余の参加がありました。

総会後の懇親会では、顧問である加藤憲一市長（高35）、来賓としてお招きした小野康夫同窓会会长（高13）、反町聰之小田原高校校長、星崎雅司県庁小田高会前会長（高28）にご挨拶をいただきました。

懇親会のメインイベントである大抽選会では、地域活性化の一助となることを目的とした小田原の地場産品、熊本地震の被災地復興支援を目的とした熊本の名産品、その他豪華家電等を景品として選出し、大いに盛り上がりました。また、こちらも

恒例ですが、会の最後には参加者全員で輪になつて肩を組み、校歌を熱唱しました。

毎年、総会には若手職員からベテラン職員まで100名超の会員が参加しており、世代を超えて一つになつて楽しい時を過ごしています。

本会は一昨年度に創設50周年を迎えたが、今後もより一層、会員間の絆を深め、市民の皆様に信頼される市政の実現に向けて尽力しています。

井上晃輔（高51）

県庁小田高会

県庁小田高会は、事務職、技術職、教職、警察職など様々な職種の方が会員で、現在、約270名です。

会の主たる行事は、毎年夏の総会です。本年は、7月15日に横浜市内で開催されました。

総会では、来賓としてお招きした小田原高等学校の小野康夫（高13）同窓会長、反町聰之校長、津田富士夫校内幹事長（高30）、小田原市役所桜和会林良英会長（高29）のか、県を退職された諸先輩方及び現役会員をあわせ、約30名の参加者を得て、懇親を深めました。

冒頭、和田久会長（高28）の挨拶に続き、来賓の方々から、小田原高等学校的同窓会の活動状況や生徒等の近況報告をいただきました。

その後、3月末で副知事を退任せられた吉川伸治神奈川県内広域水道企

業団企業長（高23）をはじめ、県を退職された諸先輩全員から、近況などについてお話をいただきました。

会の最後は、参加者全員で肩を組み、校歌、応援歌を斉唱したのち、

浦邊哲スポーツ局スポーツ課長（高35）のリードで「フレーフレー・小田高」のエールを贈り、大変な盛り上がりの中で、お開きとなりました。

近年、県庁小田高会では、会員数が減少傾向にある中、総会の参加者が伸び悩んでおりますが、総会は、様々な職域や年齢を超えた会員相互の貴重な情報交換や交流の場です。これからも積極的に参加を呼びかけ、人ととの繋がりを強化しながら、県庁小田高会をさらに活性化させるよう努めて行きたいと考えています。

幹事長 河鍋章（高33）

税理士権友会

税理士権友会の第23回定期総会が28年6月3日18時より小田原駅前喜仙に於いて開催されました。

新役員による初の定期総会です。

参加会員は17名（総会員数45名）

と例年より若干少なめでしたが、本年も1名の会員（勝又雄一朗会員（高55））が入会されました。若い会員の入会で本同窓会もより一層活性化されています。

総会は、北村幸弘新会長（高16）による挨拶に始まり、事業報告、会計報告、監査報告と異議無く全議案が承認可決されました。

合唱して散会しました。
最後には、恒例の校歌・応援歌を

総務 小柴一彦（高33）

神奈川県警察 八幡会

皆様初めてまして。「八幡会」です。

当会は、神奈川県警察のOB及び現

露木克臣（高45）

また、本年も「がんばれ！小田高応援基金」と「同窓会」に寄付することが了承されました。

まことに了承されました。

第24回 八幡山を語る会

名月に合わせて、例年のように、昨年の秋10月22日、小田原の「うおがし」で開催された。生物の原田郁一・社会の藤田和雄の常連の先生方を中心として、近況報告をかねて、賑やかに進められた。体育の富樫茂耕一の各先生方の紙上参加もあり、各期の卒業生の同期会に招かれて大変忙しく、体力がもたないお話など、教え子とのかかわり合いが生き甲斐につながっていることは間違いないようである。



寄付を贈る北村会長

4月には前会長の小松雄成会員（高14）が旭日単光章受章の栄に浴されたことをご報告させていただき、併せてお祝いをさせていただきました。

総会後の懇親会では、反町聰之校長先生、小野康夫同窓会会長（高13）をお招きして、ご挨拶を頂戴し乾杯となりました。

今年着任された反町校長先生からは小田高の印象を、小野同窓会会長からは他の職域同窓会の様子をお話しいたとき、楽しい時間を過ごしました。

最後には、恒例の校歌・応援歌を

世話人 奥津 裕（中44・高2）
藤田和雄

職員の約60名で構成しています。会名については、もちろん小田高健児の皆様に馴染み深い「八幡山」に由来しています。

実は、これまで当会は、年に1回の定例会（懇親会）をはじめとして、長年にわたり活動を行ってきました。27年も11月末に「だるま料理店」において、「八幡会」を開催し、同じ八幡山で学んだ仲間であるものの、学び舎では出会うことのなかつた先輩・後輩が、小田高の絆の下に集まり、「校歌」「冠たる伝統」「コチャ工節」を全員で熱唱するなど親交を深め、有意義なひとときを過ごしました。

当会の活動を通じて感じることは、人と人の繋がりの大切さ、そして、小田高生の絆の強さやありがたさです。この度、当会は職域同窓会として、新たなスタートを切ることとなりましたが、この繋がりや絆をより多くの「権友」の皆様と共有すべく、片山真会長（高33）を中心、小田原高校同窓会権友会のさらなる発展にも一役買つていきたいと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

最後に、これをご覧になつた在校生、卒業生の中での進路として神奈川県警察を考えている方がいましたら、遠慮なく連絡してください。お待ちしております！

県西地域「小田高権政会」

2市8町垣根を越えての 地方行政の姿、研修

28年6月18日に小田原市民交流センター「UMEKO」にて県西地域小田高権政会第2回総会を開催しました。この小田高権政会は、昨年10月に2市8町の市議会・町議会議員によって結成しています。現在総勢25名の小田高卒の議員全員が会員となり、年1回以上の研修会をかねた意見交換を目的に運営しています。



小田原市民交流センターでの講演

見聞したことありました。
きっと小田原高校についても充分調査をしてこられたことでしょう。

溝口参考官によると、「各地域を訪れ数多く講演をしているが、同じ高校を絆にしてのお説いは初めてであり大変感激しました。人生の中で多感な高校生時代はいつまでも鮮明な記憶として心に残っているものと思います。地方を代表する一つの高校の卒業生として行政境を越えての議論や研修会を通じた意見交換は、きつと県西地域全体の活性化に結びつくものと考えます。今後の新たな地方行政の在り方を見つめなおし、皆様の力で県西地域発展の素地を作つてほしい」と嬉しい激励の言葉をいただきました。

小田中・高OBの皆様、小田高権政会にご理解をいただき、権政会発展のためご指導ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

渡辺円一（高14）



関院宮春仁王殿下御手植えの赤松

同期会の動き

中43・高1 再会を誓つてカンパイ

今年の同期会は、6月5日午後1時から2時間、小田原駅前の「銀座ライオン小田原トザンイースト店」で開かれた。

この場所は、旧箱根登山ビルを解体、3年かけて建て替えた新ビル。

この日の出席者は18人。卒業後、開かれた同期会としては最低だ。淋しい限りである。かつての紅顔の

凛々しい姿は、どこにも見られない。当たり前のことなんだけど…。でも声には張りがあり、みんな元気だ。

昭和23年3月、サクラ咲く八幡山の学舎を卒立つて早69年。卒業時280余人（入学時200人）のうち、すでに160人がこの世を去り、現存者は、120余人となってしまった。

まつた。

会は恒例にしたがい鬼籍の人冥福を祈り默祷、次に久しぶりに出席した伊集院兼重君の「カンパイ」の音頭で酒宴。おたがい日本酒やビールなどを飲みながら楽しく談笑。ころあいをみて一人ひとりから近況報告。定刻の午後3時、元気で残りの老後を過ごそと来年の再開り上りがりました。

溝口参考官は大変まじめな方であり、講演をするにはその土地なり文化を知らないと当日早めに来て一夜城や小田原城を徒歩で溝口参考官は大変まじめな方であり、講演をするにはその土地なり文化を知らないと当日早めに来て一夜城や小田原城を徒歩で

川添猛 小澤彰 合田真澄
佐々木淳 高橋佐年 蕨田進一
野地敏雄 長谷川恵三 広井敏男
廣澤璋一 山本治利 渡辺栄一
幹事 野地敏雄

中44・高2 八権会 会員だよりで絆を結ぶ

4月2日、例年のように小田原の料亭「柏又」で総会・懇親会を開催、桜花咲き誇る小田原を満喫した。しかししながら、85歳という高齢のため、80名の会員の中には参加できないものが多く、幹事の古木弘久君の努力で例年のように会員便りを手づくりで発行。



会員諸氏の近況や、物故者への追悼文を内容とした第13号を配布

布できたことは会員諸氏の励まし合い紹を深めるもの大なるものがあり、今後も続けて行きたいと思ってる。また、8月の暑気払いの温泉一泊懇親会は取りやめとなり、現在行われている有志の月例集会を拡充する方向で実施方を検討中である。また、杉本繁慈君の発案による「小田から小田高へー写真でみる八幡青春譜」は貴重な私達の心の支えとなっている。

幹事長 奥津裕

高5回からの手紙

5月の同窓会総会・ホームカミングデー当日、母校に5回生の再会場所(教室)を開設しました。この日は、経済界で活躍する同窓生のビッグ・シンポジウムが開催されましたので、同期生での「論壇」は自然流会にしました。

教室の黒板には、81歳(半寿)を迎えた同期生への川柳メッセージを書いて、訪れた仲間への手土産にしました。この川柳は同期の森實さん(旧八幡製鐵OB)からの手紙(旧八幡入社同期会で配布された資料紹介)の無断引用です。乞ご容赦!

○道路を暴走するのが18歳、迷走するのが81歳
○偏差値が気になるのが18歳、血糖値が気になるのが81歳
○恋に溺れるのが18歳、風呂に溺れるのが81歳

○まだ何も知らないのが18歳、もう何も覚えていないのが81歳
○東京オリンピックに出たいと思うのが18歳、東京オリンピックまで生きたいと思うのが81歳
○自分探しの旅をしているのが18歳、出かけたまま分からなくなつて、みんなで探しているのが81歳
○「嵐」というと松本潤を思い出すのが18歳、鞍馬天狗の嵐寛寿郎を思い出すのが81歳
——以上、一部手直しもあります。
来年もお元気で。

5回生同期会幹事団

恒例の講演会・忘年会

八櫻会では主な行事として「春秋のゴルフコンペ」「講演会・忘年会」を実施しています。昨年12月17日、今最も関心の高い「認知症」に関する講演会を開催しました。



「認知症や脳卒中から脳を守ろう」——いつまでも脳の輝きを保つコツ——と題して、温知会箇中病院院長箇中信也先生に講演して頂きました。先生は箇中純也八櫻会会长の弟さんで、東大医学部卒、東大医学部助教授、帝京大学医学部教授を歴任され、現在は箇中病院院长のほか、頭痛外来の診療も担当され、日本頭痛協会の報酬です」とのコメントを頂きました。

その後歓談が続き、最後は恒例により、校歌・応援歌の齊唱で蛮声を張り上げ、「老年」を謳歌しました。歌声は小田原駅前東通りに「こだま」しました。

散会時、印刷会社より、印刷ミスのお詫びにと、いだだいた手土産(メモ帳)を渡しました。





クスノキ年輪板

高村完一
ホームカミングデーの同期会は、どんなん企画になるのやら、今から楽しみです！

さて来年のホームカミングデーは、どんな企画になるのやら、今から楽しみです！

前日のクッキー作りから5年ぶりの同期会まで、同期との旧交を温めることができます。これからも、グデーのおかげです。これからも、よろしくお願ひします。

さて来年のホームカミングデーは、どんな企画になるのやら、今から楽しみです！

事の吉野さん、校史展示室の原田さんをはじめ、多くの同期がホームカミングデーを楽しみながら（？）、お手伝いいただきました。みんな、ありがとうございます。いつも助かっています！

ホームカミングデー終了後は、5年ぶりの同期会。山本先輩（高16）に乾杯のご発声をお願いし、華々しくスタート。恒例（？）のジャンケン大会では、小出さんが優勝し賞金全額を熊本地震のお見舞金に。なんと気つ風のいい人なんでしょう！

前年度優秀選手の顕彰などの活動を行っています。



前年度優秀選手

6月25日に小田原市民会館で、反町聰之校長、小野康夫同窓会長（高13）らを来賓としてお招きし、「28年度総会」を開催しました。

奇しくもこの日は松下選手の日本選手権の決勝レースがあり、総会後の懇親会の会場で小さなテレビの前で前の選手をかわして2位に入り大きな歓声が。オリンピック出

小田原高校運動部 OB会連絡会

OB会の動き

ソフトテニス部、野球部、陸上部、サッカー部、剣道部、バレー部、バスケットボール部、卓球部、バドミントン部、山岳部、弓道部、水泳部のOB会12部が加盟し、OB会相互の情報交換、在校員への後援や前年度優秀選手の顕彰などの活動を行っています。

場を決めた瞬間でした。OBの熱い思いが背中を押したのかもしれないと思っています。

手塚満（高39）



28年度総会

マリンスパあたみ・28年5月27日、29日開催）に6名の参加がありました。今年の11月13日の湘南マスター大会と来年の熱海大会（5月開催へ、できるだけ多くのOB・OGの参加に力を入れていく方針を引き続き確認しました。最後に、校舎の屋上にあるプールサイドを見学するとともに集合写真を撮りました。



28年5月15日ホームカミングデー開催とともに、小田原高校選択教室2において、卯月雅裕さん（高15）、石黒一也さん（高32）、城田政美さん（高32）にも参加いただき、14名の参加を得て懇親を深めました。

総会では、星崎信幸会長（高39）の挨拶に始まり、決算報告、今後のOB会活性化策等、有意義な話し合いを行いました。前年度のマスターズ大会（競泳）参戦の報告があり、特に参加人数を増やす湘南マスターズ大会（平塚総合体育館温水プール、27年11月8日開催）に20名、日本マ

スターズ水泳短水路大会（熱海水

事務局長 本多直司（高48）

(5組 加藤浩)、樺友会会長(2組・小野康夫)の挨拶、乾杯(4組・鎌田哲也)と続き、12時過ぎには賑やかに懇親が始まりました。

パーティ終盤には新曲「さくら変奏曲」も奏でられ、「みんなでうたおう」コーナー(2組・田中憲一)では、卒業当時の青春歌謡数曲を各組有志で合唱、最後に1組・松嶋直良他のリードで「冠たる伝統」を全員で声高らかに歌い、午後2時半には締めの挨拶(3組・宮本多喜子)でめでたくお開きとなりました。



小田高16回生 2016同期会 28年10月2日 於湯本富士屋ホテル

あつたようです。
ところで我々13回生の同窓会は、何故か前回があの東日本大震災に当たり、今回は熊本地震が起こったたなんでも卒業60年同窓会には大震災が起こらないことを祈るばかりです。

代表幹事 加藤浩

高16回同期会

今年は10月2日正午から湯本富士屋ホテルで開催された。参加者は61名。3年8組が持ち回り当番で幹事になった。まず全員で記念撮影した後、志村學君の司会で進行。

右君による乾杯、しばらくの間、バンドの演奏に耳を傾けながら歓談、小田高生時代を思い浮かべながら全員で「高校三年生」を合唱。出席者からのスピーチが続いたが同時に各テーブルでは賑やかに談笑。応援歌「冠たる伝統」の合唱と貞永邦君の手締めでお開き。一次会の熱気に包まれたまま45名が隣室に移り、飯塚進次君の司会で2次会。16時30分閉会。盛り上がった同期会だったが、出席者数は年を追うごとに漸減の傾向にあり、いささか氣になるところだ。今後、一人でも多くの出席が期待される。

追記: 29年は1, 2組主催で、10月29日(日)湯本富士屋ホテルで開催しますので多数の参加をお願いします。

高17回同期会 半世紀日の集い

一年遅れるが、去年2015年4月、東京の帝国ホテルにおいて卒後50年記念の同期同窓会を開催した。高校3年在学中、東京オリンピックが開催された世代である。出席してくれた先生は3名、石原京三先生(国語)、長田勝海先生(英語)、

第二次会では、小田原市内の温泉レストランや駅前のビアレストラン、果ては宮小路のスナックやら、各組単位で5年ぶりの旧交を暖め過ぎて「日酔い」になつたとの後日談も

等がいた頃の小田高は若い先生がほとんどおらず私が一番若かった」と述べられていてことが印象に残った。確かに、化学の府川先生、英語の國見先生、美術の善浪先生、漢文の小泉先生、体育の武井先生など中年世代であった。長田先生が「自分達の教えた英語は、古めかしい文法中心で翻訳が多かったかな」と呟いたので、「私は今英語を使って仕事



2015年4月16日 幹事一同 於 帝国ホテル

本多博光先生(数学)であった。生徒出席は75名。3名の先生からそれぞれ挨拶のスピーチを頂いた。乾杯に続き歓談となり、応援歌、校歌を斉唱して閉会した。

本多博光先生(数学)であった。生徒出席は75名。3名の先生からそれぞれ挨拶のスピーチを頂いた。乾杯に続き歓談となり、応援歌、校歌を斉唱して閉会した。

開会宣言。昨年の同期会開催以降に亡くなつた唐崎彷夫君、二宮俊雄君の御靈に黙祷を捧げた(寂しいことだがこれで50名の同期生がすでに鬼籍にはいった)。オープニングはキーボード伴奏で校歌齊唱、川崎清

をしていますが、高校で習った以上の英語は不要で、今もある文法と丸暗記の単語で十分仕事で通用しておられます」と答えると、少し嬉しそうな表情をされた。

幕末から敗戦まで77年だが、我々は戦後70年というほぼ同じ期間を生きたことになると挨拶したことを報告したい。

小島秀樹

高18回同期会 来年は古希を祝つて

今年の桜友祭では卒業後50年の当番学年に当たる高校18回卒が中心と催しました。一年前から始めた準備活動を同期と地元で活躍する同窓生との強い協業で進めた結果、多くの方からも高い評価を得て成功裏に終了しました。

【いよいよ来年は多くの仲間が古希を迎える年です。】

70歳は長い人生の通過点に過ぎないかもしれません、まずは此処まで到達したことを皆で喜びたく「古希の祝い」同期会を左記の予定で来年開催します。

- ・開催日：29年11月18日（土）
- ・開催場所：「湯本富士屋ホテル」
- これまで参加されなかつた方も含め、11月18日（イイ18回）に多くの仲間が集まり、思い出話や近況などを語らい古希を祝いたいと思います。

お問合せ・常任幹事 鈴木紀雄

ふるってご参集ください。

石島・大場

高19回 卒業50周年 同期会を開催します！

昭和42年3月卒業の高校19回生は、卒業30周年の平成9年と、全員が還暦を迎えた平成21年に、いずれも100名を超える参加者を得て、盛大に同期会を開催してきました。

29年は、卒業50周年の節目に当たることから、小田高同窓会の総会・桜友祭（ホームカミングデー）の開催日に合わせ、同じ日の29年5月14日（日）午後5時から、小田原市民会館小ホールにて、同期会懇親会を開催する予定です。後日、改めて開催通知をお送りしますので、お説明合わせのうえ、ご参加くださるようお願いいたします。

また、今回の桜友祭の企画運営については、卒業50周年に当たる高校19回生が協力することになりました。そこで、同期の高橋実名工大前学長、渡部直樹慶大常任理事、井出光首都大名誉教授によるシンポジウムなどを計画していますが、当日の受付や案内などスタッフとして、運営にご協力をいただければ幸いであります。よろしくお願ひいたします。

幹事代表の近藤正道君のあいさつに始まり、現役で活動している「小峯バンド」小峯正嗣君（ドラム）、山内逸男君（ギター）、飛び入り参加の角田大龍君（キーボード）らの演奏。沖津芳賀君企画・構成、主

高27回 還暦・同期会

昭和50年3月、卒業したのは昨日のことのように思い出されます。卒業から42年目、還暦を迎え、勤め人間があつていう間に過ぎてしまい、4年後の再会を期して、校歌を齊唱し、無事お開きとなりました。

幹事 原田泰隆

高32回 クッキー作りと同期会！

毎年、高校32回のホームカミングデーは、同期が母校へ気軽に立ち寄れるように、様々な企画を実施していますが、今年はクッキー作りから同期会までもりだくさんでした。

前日のクッキー作りは、唐崎先輩（高19）の指示と同期のリケジョらしい厳しい指導もあり、無事に小田高伝統のレシピでクッキーを焼くことができました。



クッキー作りでは、小田高伝統のレシピを再現！

幹事代表の近藤正道君のあいさつに始まり、現役で活動している「小峯バンド」小峯正嗣君（ドラム）、山内逸男君（ギター）、飛び入り参加の角田大龍君（キーボード）らの演奏。沖津芳賀君企画・構成、主

款さん、救護班の辻内さん、校内幹

画「河を渡るとき」の上映。参加者からの思い出の写真を集めたスライドショーなど、当時を懐かしく思い出しました。昔話に話は尽きず3時間があつていう間に過ぎてしまい、4年後の再会を期して、校歌を齊唱し、無事お開きとなりました。

会員通信

28年度同窓会総会への返信等から
(概要)

同窓会ホームページがリニューアル!

<http://odako.org>



ホームページのデザインが新しくなって、スマートフォンなどの携帯端末からも見やすくなりました。

同窓会では広く会員同士の交流を深めたいと思っています。「会員ひろば」を同窓会・同期会などの告知・報告にご利用ください。

「事務局窓口」では、同窓会へのお問い合わせ、住所変更の方法、会費・寄付金納入の方法と口座番号など、「がんばれ! 小田高応援基金」「校史資料等のご利用について」、会報・ホームページへの情報提供、広告掲載の方法などをご案内しています。

また、各種申請用紙のダウンロードができるほか、住所変更などメールフォームから受け付けているものもあります。

従来通り、同窓会からのお知らせ、会報のバックナンバー、小田高の歴史、校史展示室・教材展示室の公開日のご案内なども掲載しています。ぜひ、ホームページをご活用ください。

記念福を
お祈りいたします

計
報



百段坂の登校風景

- 3 その他**
- 引き続き、各種役員に多くの女性が参画するように呼びかけていく。
- 2 委員会の活動**
- 各委員会の事業計画については省略します。詳細についてはウェブサイトをご覧下さい。

会員に対する情報伝達に加えて、会員が相互に情報交換できるように、引き続き検討を進め、内容の充実を図る。

(2) ウェブサイトの会員利用の促進

事業に関する答申を受け止めて、会員が相互に情報交換できるように、引き続き検討を進め、内

申の具体化

平成28年1月16日についた親睦事業に対する答申をもとに、新たな親睦事業の具体化を図り、会員に身近な桜友会を目指す。

(1) 「親睦事業・会費検討会」の答

1 活動目標

28年度
事業計画



(単位:円)		
平成28年度予算		
[収入の部]	本年度予算額	前年度予算額
会 金	1,595,000	1,605,000
会 費	5,439,000	5,022,000
寄 付	50,000	850,000
繰 金	647,274	526,564
入 収	462,726	107,436
合 計	8,194,000	8,111,000

(単位:円)		
平成27年度決算		
[支出の部]	予算額	実績額
事 務 費	920,000	990,000
事 務 局 費	230,000	300,000
事 務 局 会 議 費	130,000	130,000
常 任 幹 事 会 費	160,000	140,000
校 内 幹 事 会 費	10,000	10,000
会 員 連 絡 費	20,000	20,000
涉 外 費	90,000	90,000
消 耗 備 品 費	60,000	80,000
雜 費	220,000	220,000
事 業 費	6,264,000	6,119,000
OHCD・総会費	600,000	450,000
入会記念品費	440,000	436,000
総務委員会費	240,000	40,000
交流委員会費	250,000	100,000
広報委員会費	50,000	35,000
資料委員会費	50,000	50,000
校歌祭委員会費	500,000	930,000
会報発行費	3,397,000	3,453,000
広報	130,000	125,000
地域職域同窓会費	227,000	200,000
同期会結成補助費	150,000	150,000
校史展示室費	230,000	150,000
教 育 費	453,000	383,000
積 立 金	300,000	300,000
予 備 費	257,000	319,000
合 計	8,194,000	8,111,000

(単位:円)		
平成27年度決算		
[支出の部]	予算額	実績額
事 務 費	990,000	815,677
事 務 局 費	300,000	217,161
事 務 局 会 議 費	130,000	95,969
常 任 幹 事 会 費	140,000	158,854
校 内 幹 事 会 費	10,000	0
会 員 連 絡 費	20,000	19,750
涉 外 費	90,000	60,000
消 耗 備 品 費	80,000	50,207
雜 費	220,000	213,736
事 業 費	6,119,000	5,913,616
OHCD・総会費	450,000	531,774
入会記念品費	436,000	436,664
総務委員会費	40,000	32,400
交流委員会費	100,000	88,914
広報委員会費	35,000	29,800
資料委員会費	50,000	35,582
校歌祭委員会費	930,000	867,250
会報発行費	3,453,000	3,327,596
広報	125,000	129,914
地域職域同窓会費	200,000	227,000
同期会結成補助費	150,000	100,000
校史展示室費	150,000	106,722
教 育 費	383,000	447,616
積 立 金	300,000	300,000
予 備 費	319,000	0
合 計	8,111,000	7,476,909

資産の状況 (平成28.3.31現在) (単位:円)

1 基本金	22,903,801
(1) 横浜銀行(積立定期預金)	11,525,515
(2) さがみ信用金庫(積立定期預金) 1	11,378,286
2 記念事業積立金	1,690,064
(1) 横浜銀行(積立定期預金)	1,690,064
3 名簿会計積立金	1,162,474
(1) さがみ信用金庫(積立定期預金) 1	1,162,474
4 一般会計保管金	10,419,140
(1) 横浜銀行(入会金・年会費等)	3,922,133
(2) ゆうちょ銀行(年会費等)	5,229,330
(3) 郵便局振替口座(年会費等)	1,251,019
(4) 小口現金	16,658
資 産 計	36,175,479

*総会で報告された予算・決算書をお知らせいたします。

詳細はホームページをご覧ください。

**補助金をもらって
同期会を始めよう！**

同窓会が発展するためには、同期会の結束・活性化が不可欠です。そこで、同窓会では、各卒業期が新たに同期会を結成する場合には、5万円を限度として、補助金を交付しています。ぜひ、ご利用ください。

日に小田原市民会館大ホールにて、ヴァイオリン・リサイタルを開催しました。

「母さん助けて詐欺

は、同窓会ホームページの同期会結成補助金交付要領にしたがって、申請書をダウンロードしてお使いください。申込書および必要書類を添付してP36同窓会連絡先宛てに郵送してください。

また、各同期会において、同期の住所録一覧(Excelファイル等)が必要な場合には、申請書に希望内容と連絡先PCメールアドレスを

追記いただくか、または、樫友会
(kenyukai@odako.org)宛てにメール
連絡いただければ、対応いたします。

名義後援の制度を 始めました！

同窓会では、名義後援の承認手続きに関する要綱を制定し、名義後援の制度を始めました。

購入のお誘い

言われる犯罪は、最近ではその方法が、宅配便や郵便で私設私書箱へ送付させる、バイク便業者や代理人が指定場所に受け取りに来るなどに変化してきているようです。

以前、「小田高同窓会の会員名簿が使われている可能性がある。」との新聞報道もあり、同窓会としては深刻に受け止めています。

会員の皆さん、家族の連絡を密に

して、騙されないように注意しましょう。

・創立百十周年記念史
購入のお説い

○創立百十周年記念史のご案内
母校は22年（2010）に創立

○小田高絵葉書

母校の絵葉書を作りました。校訓
扁額、櫻林（セピア）、鎮遠の鐘、
創立五十周年記念図書館、旧体育館、



第二章	学力向上進学重点校と教 育制度の変革
第三章	新校舎落成と新グラウン ド完成
第四章	創立百十周年記念事業
第五章	生徒会
第六章	P T A
第七章	同窓会
資料集	
年表	

資料委員会では数年来、全国レベルで活躍する卒業生を集めた「卒業生の活躍」というリストを作り、情報報をいただきますと運営委員会で承認を得て、リストを常時更新しております。

全国レベルで活躍する 卒業生をお知らせください！

全国レベルで活躍する
卒業生をお知らせください。

FAX、郵送（私書箱）による場合、P36同窓会連絡先宛て投稿をお願いします。

◆**八幡山**をホームページで見る
原稿が遅くなる場合はご一報ください
されば、予め余白を用意いたします
ので掲載は可能です。
29年9月1日

◆個人情報にご注意ください

会報や同窓会ホームページに原稿を掲載する際、個人が特定できる氏名や写真等は個人情報に該当します。ご投稿いただく際は、必ずご本人の事前の承認を受けていただきますようお願いいたします。

第29号「八幡山」に 掲載する広告を 募集します!!

保するため、会報に広告を掲載しています。当会報は、学区内に限らず、全国の同窓会会員に配付しております。

小田原高校卒業生はもとよりご家族の方にもお読みいただいています。広告の掲載を希望される方は、P36 同窓会連絡先までお申出ください。

◆発行時期

◆
発行部数

中旬（预定）

発行部数
29年12月中旬
(予定)

◆配付先
同窓会会員 約22,000部
在校生及び新入生約1,000部
教員・他校同窓会等 約500部
◆広告料（寸法はおおよそです。）
①横8.8cm×縦4.5cm
15,000円
(1頁5段のうちの最下段の半分)
②横17.8cm×縦4.5cm
30,000円
(1頁5段のうちの最下段)
③横17.8cm×縦9.6cm
60,000円
(1頁5段のうちの下2段)
広告料のお支払いは、お申込をいたいた後、同窓会から振込口座をご連絡しますので、それによりお振込みください。なお、その際の振手数料は、広告主様でご負担いただきますようお願いいたします。

◆広告原稿
広告の原稿（デザインを含む）は、申込の際、広告主様ご自身でご用意ください。掲載時は白黒（グレイ可）となります。

◆募集の締切り
締切りは29年7月31日（月）とさせていただきます。
広告原稿の作成が間に合わない場合は、遅くとも9月末までにお送りください。申込方法は、同窓会ホームページをご覗ください。なお、会報の趣旨や体裁からお申込数が多數となる場合はお断りすることもありますのでご承知ください。

★銀行名 銀行・信金から振込
支店 029（ゼロ二キユウ）
・銀行名 ゆうちょ銀行(9900)
・支店 029（ゼロ二キユウ）
同窓会



至誠無息

◆銀行・信金から振込
支店 0081599
口座番号 0022501881599
【ゆうちょ銀行（コード9900）】
小田原支店（029）預金種目当座
口座名「がんばれ！小田高」応援基金
【他行から振込む場合】
ゆうちょ銀行 029（ゼロ二キユウ）
支店 当座預金
口座番号 0081599
口座名「ガンバレオダコウオウエン

27年度会計報告

収入の部（円）		支出の部（円）		
繰越金	3,109,450	進路指導・進学研究	3件	11,630
寄付（125名）	717,440	勉強合宿・勉強会	4件	45,178
寄付（2団体）	175,180	総合学習	4件	56,630
銀行利息	317	学校説明会	5件	225,102
		部活動	4件	507,677
		運営費（基金負担払込料金ほか）	53件	39,152
		その他	4件	20,428
計	4,002,387	計	77件	905,797
差引の部（円）		4,002,387 - 905,797 =	3,096,590	

会費は同窓会活動の源泉です！

小田高応援基金からの報告

約23,500部（予定）

◆同窓会は会費で運営されています。
この会報「八幡山」は、会員全員に送られています。発行部数は、約2万2千部になります。

また、会費は、ホームカミングデー、校歌祭、校史展示室の運営、運動部等生徒の激励、新入会員記念品の贈呈など、さまざまな会の運営の源泉になっています。

◆納入はコンビニ・郵便局などで年会費 3千円。ただし、卒業後1年目（19歳）は納入を免除し、卒業後2年目（20歳）から6年目（24歳）までは、千円です。また、60歳以上で、この会報に同封された連絡ハガキを利用するなどして終身会費の納入を申し出た方は、年齢に応じた金額（60歳は5万円で1歳上がるごとにマイナス3千円。70歳以上は一律2万円）を納入することができます。

詳しく述べ同封の「終身会費制度のご案内」をご覧ください。
年会費は、この会報に同封されている払込取扱票をもってコンビニまたは郵便局で納入いただか、次の要領によりお振込みください。

但し、ゆうちょダイレクトの場合、ATM、ダイレクトバンキングの場合オダコウ タロウ コウ45
小田高 太郎 高45
・払込用紙の場合

◆基金への寄付は、同窓生、PTA会員、趣旨に賛同される一般の方を対象に受付けています。

◆寄付金の額は、一口千円で何口でも結構です。

郵便払込取扱票（払込手数料は基金負担）でお願いします。また次の口座への振込みも可能です。その際の振込手数料は、恐れ入りますが皆様にご負担をお願いします。

◆寄付のお申し込み方法は、同封の郵便払込取扱票（払込手数料は基金負担）でお願いします。また次の口座名「がんばれ！小田高」応援基金口座番号0022501881599

★ダイレクトバンキングを利用パソコンや携帯電話などを操作して振込む方法もあります。

◆なお、ご依頼人・通信欄において、次の一例通り、ご氏名のあとに卒業回数を必ず記入願います。

この方法は銀行などの支店に行かなくてよく、いつでも利用でき、手数料が支店利用時よりも安くなるなどのメリットがあります。

◆なお、ご依頼人・通信欄において、次の一例通り、ご氏名のあとに卒業回数を必ず記入願います。

【がんばれ！小田高】応援基金は、本年度で9年目になります。その間の寄付者数は、のべ約千人26回から高60回台の若い同窓生の寄付が目立ってきました。本当に嬉しい事です。運営委員全員心から御礼申し上げます。

◆皆様のご協力をよろしくお願ひ申しあげます。
キキン

寄付金・年会費納入状況(27年10月から28年9月まで)

卒年	会員数	亡	不明者	有効会員数	入金人数	入金額	入金率
旧教職員	1,048	282	300	466	15	52,000	3.22%
小計	1,048	282	300	466	15	52,000	3.22%
中学校							
中1回(明治34年~39年)	42	40	2	0	0	0	0.00%
中2回(明治35年~40年)	41	37	4	0	0	0	0.00%
中3回(明治36年~41年)	41	38	3	0	0	0	0.00%
中4回(明治37年~42年)	41	38	3	0	0	0	0.00%
中5回(明治38年~43年)	36	30	6	0	0	0	0.00%
中6回(明治39年~44年)	52	39	13	0	0	0	0.00%
中7回(明治40年~45年)	25	25	0	0	0	0	0.00%
中8回(明治41年~大正2年)	56	44	12	0	0	0	0.00%
中9回(明治42年~大正3年)	71	66	5	0	0	0	0.00%
中10回(明治43年~大正4年)	57	52	5	0	0	0	0.00%
中11回(明治44年~大正5年)	59	47	12	0	0	0	0.00%
中12回(明治45年~大正6年)	63	54	9	0	0	0	0.00%
中13回(大正2年~7年)	59	55	4	0	0	0	0.00%
中14回(大正3年~8年)	84	75	9	0	0	0	0.00%
中15回(大正4年~9年)	75	58	16	1	0	0	0.00%
中16回(大正5年~10年)	95	89	6	0	0	0	0.00%
中17回(大正6年~11年)	80	73	7	0	0	0	0.00%
中18回(大正7年~12年)	94	77	16	1	0	0	0.00%
中19回(大正8年~13年)	103	92	11	0	0	0	0.00%
中20回(大正9年~14年)	113	99	14	0	0	0	0.00%
中21回(大正10年~15年)	108	96	11	1	0	0	0.00%
中22回(大正11年~昭和2年)	114	107	6	1	0	0	0.00%
中23回(大正12年~昭和3年)	117	102	15	0	0	0	0.00%
中24回(大正13年~昭和4年)	110	97	11	2	0	0	0.00%
中25回(大正14年~昭和5年)	125	108	14	3	0	0	0.00%
中26回(大正15年~昭和6年)	109	104	4	1	0	0	0.00%
中27回(昭和2年~7年)	152	146	5	1	0	0	0.00%
中28回(昭和3年~8年)	153	139	7	7	0	0	0.00%
中29回(昭和4年~9年)	143	125	12	6	0	0	0.00%
中30回(昭和5年~10年)	155	128	18	9	0	0	0.00%
中31回(昭和6年~11年)	164	141	13	10	0	0	0.00%
中32回(昭和7年~12年)	150	125	11	14	0	0	0.00%
中33回(昭和8年~13年)	173	146	10	17	1	3,000	5.88%
中34回(昭和9年~14年)	168	141	7	20	2	6,000	10.00%
中35回(昭和10年~15年)	162	123	16	23	0	0	0.00%
中36回(昭和11年~16年)	175	128	10	37	4	12,000	10.81%
中37回(昭和12年~17年)	177	133	11	33	0	0	0.00%
中38回(昭和13年~18年)	184	113	13	58	7	21,000	12.07%
中39回(昭和14年~19年)	189	117	17	55	7	21,000	12.73%
中40回(昭和15年~20年)5年制	197	123	12	62	6	18,000	9.68%
中40回(昭和16年~20年)4年制	208	106	24	78	8	24,000	10.26%
中41回(昭和17年~21年)中42回	97	55	15	27	3	9,000	11.11%
中42回(昭和17年~22年)	142	79	17	46	3	9,000	6.52%
中43回(昭和18年~23年)高1回	176	77	29	70	4	12,000	5.71%
中44回(昭和19年~23年)高2回	63	24	15	24	5	22,000	20.83%
併じ1回(昭和20年~23年)高3回	305	110	30	165	0	0	0.00%
併じ2回(昭和21年~24年)高4回	310	93	27	190	0	0	0.00%
小計	5,613	4,114	537	962	50	157,000	5.20%
卒年	会員数	亡	不明者	有効会員数	入金人数	入金額	入金率
高11回(昭和31年~34年)	389	88	24	277	65	195,000	23.47%
高12回(昭和32年~35年)	396	49	41	306	53	159,000	17.32%
高13回(昭和33年~36年)	391	44	33	314	74	222,000	23.57%
高14回(昭和34年~37年)	408	41	57	310	53	159,000	17.10%
高15回(昭和35年~38年)	379	39	62	278	36	108,000	12.95%
高16回(昭和36年~39年)	386	46	29	311	46	138,000	14.79%
高17回(昭和37年~40年)	405	38	69	298	41	123,000	13.76%
高18回(昭和38年~40年)	528	47	87	394	46	138,000	11.68%
高19回(昭和39年~41年)	472	32	70	370	55	165,000	14.86%
高20回(昭和40年~42年)	485	24	88	373	50	153,000	13.40%
高21回(昭和41年~44年)	455	32	50	373	34	102,000	9.12%
高22回(昭和42年~45年)	435	33	69	333	46	141,000	13.81%
高23回(昭和43年~46年)	439	21	71	347	30	90,000	8.65%
高24回(昭和44年~47年)	429	11	105	313	25	75,000	7.99%
高25回(昭和45年~48年)	414	10	89	315	28	84,000	8.89%
高26回(昭和46年~49年)	411	13	113	285	35	128,000	12.28%
高27回(昭和47年~50年)	407	19	67	321	39	117,000	12.15%
高28回(昭和48年~51年)	405	11	77	317	26	78,000	8.20%
高29回(昭和49年~52年)	452	10	96	346	35	105,000	10.12%
高30回(昭和50年~53年)	445	10	136	299	28	84,000	9.36%
高31回(昭和51年~54年)	445	3	127	315	33	99,000	10.48%
高32回(昭和52年~55年)	451	10	64	377	66	198,000	17.51%
高33回(昭和53年~56年)	445	8	76	361	29	87,000	8.03%
高34回(昭和54年~57年)	452	5	57	390	32	96,000	8.21%
高35回(昭和55年~58年)	455	5	111	339	22	69,000	6.49%
高36回(昭和56年~59年)	446	9	98	339	15	45,000	4.42%
高37回(昭和57年~60年)	403	4	113	286	21	63,000	7.34%
高38回(昭和58年~61年)	454	7	127	320	12	36,000	3.75%
高39回(昭和59年~62年)	465	5	142	318	21	63,000	6.60%
高40回(昭和60年~63年)	456	2	157	297	16	48,000	5.39%
高41回(昭和61年~平成元年)	469	8	99	362	16	50,000	4.42%
高42回(昭和62年~平成2年)	513	2	117	394	11	33,000	2.79%
高43回(昭和63年~平成3年)	477	2	119	356	10	30,000	2.81%
高44回(平成元年~4年)	514	3	133	378	16	48,000	4.23%
高45回(平成2年~5年)	456	3	131	322	7	21,000	2.17%
高46回(平成3年~6年)	442	2	127	313	7	21,000	2.24%
高47回(平成4年~7年)	439	2	111	326	6	18,000	1.84%
高48回(平成5年~8年)	427	2	117	308	14	42,000	4.55%
高49回(平成6年~9年)	414	0	115	299	7	21,000	2.34%
高50回(平成7年~10年)	398	3	107	288	6	18,000	2.08%
高51回(平成8年~11年)	391	1	105	285	7	21,000	2.46%
高52回(平成9年~12年)	395	1	87	307	6	18,000	1.95%
高53回(平成10年~13年)	356	0	94	262	6	18,000	2.29%
高54回(平成11年~14年)	357	2	82	273	2	6,000	0.73%
高55回(平成12年~15年)	358	0	66	292	7	21,000	2.40%
高56回(平成13年~16年)	317	0	59	258	2	6,000	0.78%
高57回(平成14年~17年)	395	3	77	315	4	12,000	1.27%
高58回(平成15年~18年)	388	0	70	318	2	6,000	0.63%
高59回(平成16年~19年)	318	0	41	277	7	21,000	2.53%
高60回(平成17年~20年)	320	0	37	283	6	18,000	2.12%
高61回(平成18年~21年)	318	0	32	286	5	15,000	1.75%
高62回(平成19年~22年)	322	0	19	303	3	3,000	0.99%

高等学校

高1回(昭和23年～24年)	112	52	1	59	10	30,000	16.95%
高2回(昭和23年～25年)	194	78	23	93	20	63,000	21.51%
高3回(昭和23年～26年)	320	122	38	160	9	27,000	5.63%
高4回(昭和24年～27年)	348	118	39	191	20	62,000	10.47%
高5回(昭和25年～28年)	377	123	31	223	41	123,000	18.39%
高6回(昭和26年～29年)	381	103	48	230	31	93,000	13.48%
高7回(昭和27年～30年)	412	109	32	271	43	129,000	15.87%
高8回(昭和28年～31年)	387	100	44	243	58	174,000	23.87%
高9回(昭和29年～32年)	401	88	46	267	64	192,000	23.97%
高10回(昭和30年～33年)	408	88	39	281	66	198,000	23.49%

*中1回から高67回までは会費の納入をお願いしている卒業回数です。高68回の方々には、ご賛付という形で納入頂いています。

同窓会活動は同窓生の会費で運営されています

平成27年10月から平成28年9月までの会費納入者と寄付者のみなさん（敬称略）

終身会費納入者

年会費・寄付金納入者



上庭の木造小屋（※）



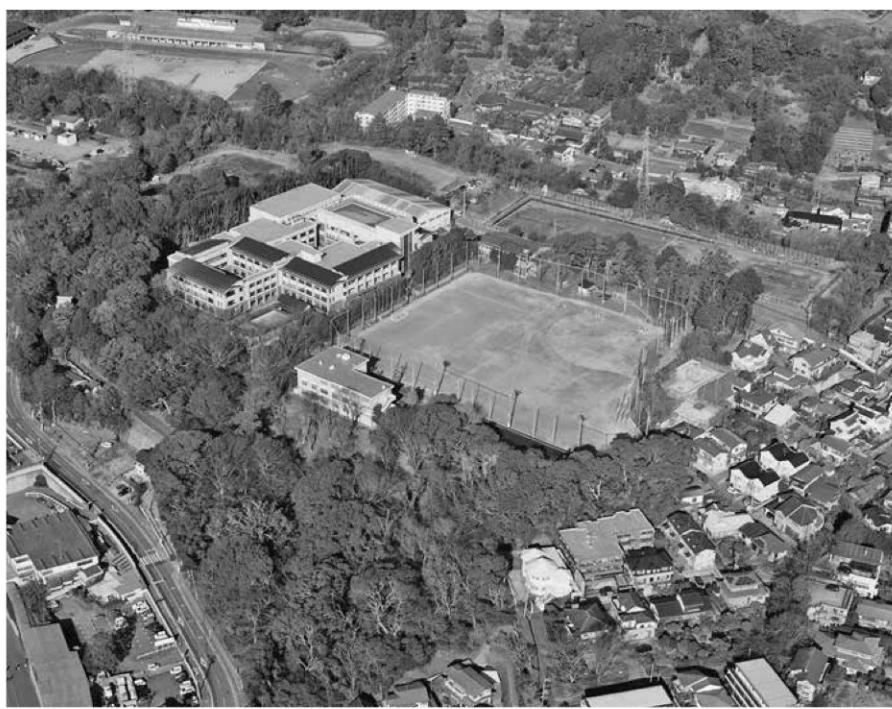
昭和34年8月陸上部全国大会優勝報告会 鈴木十郎市長の祝辞



初代樺葉館（※）



旧正門下の明治のサクラ



航空写真（南東から撮影）（※）



初代吉田校長・二代阿部校長



室名板「桜友会」

湯河原地区小田高会
(湯河原地区小田高会創立30周年
を記念して、室名板「桜友会」を
ご寄贈いただきました。)

（敬称略・寄付年月日順）

次の皆様から合計で25万7千円の
ご寄付をいただきました。
ありがとうございました。

同窓会へご寄付を
いただきました

新会員を迎えて 同窓会入会式を開催

今年もフレッシュな318人の会員を同窓会に迎えました。思い出の母校からの旅立ちの日である卒業式を翌日に控えた3月4日に、母校体育館で、第68回卒業生の同窓会入会式が開催されました。



校内幹事長内田幸男先生（高26）の司会により、まず、小野康夫同窓会長（高13）から新人会員に対して、同窓会活動の内容、同窓生が3万人を超え、社会の幅広い分野で活躍していること、同窓会活動を通じ先輩同窓生とのつながりが、これから的生活の中で善き出会いとなることなど、入会の歓迎とこれから活躍を期待する激励の言葉が贈られました。

引き続き、各クラス2人ずつの幹事の紹介があり、高68の常任幹事となつた武藤未幸さんと齋尾健太さんに、会長から常任幹事の委嘱状が手渡されました。新常任幹事の2人からは、常任幹事としての決意が表明されました。

また、新会員に入会の記念品としてボールペンと印鑑がセットになつたネームペ恩を贈りました。司会の内田先生から、同窓会組織の概要や各委員会等の活動紹介があり、入会式を無事に終えることができました。

今年も校内幹事をはじめ、学校のご理解とご協力をいただき、卒業生の全員が同窓会員となりました。



今年はPVを作成するなど新しい試みも多くしました。

内田先生によると、今年は「羽ばたけ自分たちの空に」というテーマのもと開催されました。当日は、6千人に迫る過去最多の来校者を記録し、例年以上に大盛況でした。各年次の出し物は、1年生は「空」をテーマにした折り鶴壁画、2年生は「笑い」をテーマにした劇、3年生は「感動」をテーマにした劇でした。小田原養護学校との交流、また文化部や同好会、委員会の発表などがありました。また、今年は小田原おでんの販売を行いました。売上も好調で、地域との関わりを深くしていく一助となりました。

主な結果は次のとおりです。垂れ幕部門は2-2「小さな世界の恋物語」、看板部門は3-1「蝶ノ記」、装飾部門は3-1「蝶ノ記」、折鶴壁画は1-5「Twilight」、2年次演劇部門は2-9「徹子の部屋」、3年次演劇部門は3-9「それでもボクはやってない」がそれぞれ1位となり、小田高祭大賞は「ダンス部」となりました。



今年の小田高祭は6月4日、5日に、「羽ばたけ自分たちの空に」というテーマのもと開催されました。当日は、6千人に迫る過去最多の来校者を記録し、例年以上に大盛況でした。各年次の出し物は、1年生は「空」をテーマにした折り鶴壁画、2年生は「笑い」をテーマにした劇、3年生は「感動」をテーマにした劇でした。小田原養護学校との交流、また文化部や同好会、委員会の発表などがありました。また、今年は小田原おでんの販売を行いました。売上も好調で、地域との関わりを深くしていく一助となりました。

主な結果は次のとおりです。垂れ幕部門は2-2「小さな世界の恋物語」、看板部門は3-1「蝶ノ記」、装飾部門は3-1「蝶ノ記」、折鶴壁画は1-5「Twilight」、2年次演劇部門は2-9「徹子の部屋」、3年次演劇部門は3-9「それでもボクはやってない」がそれぞれ1位となり、小田高祭大賞は「ダンス部」となりました。

来場者数5999人過去最多！小田高祭！



中学からの進学状況（平成28年4月）

(1) 出身中学校別入学者数

出身中学	学年	1年	2年	3年	合計
小田原市	白山	8	14	16	38
	泉	10	10	11	31
	酒匂	8	11	6	25
	鴨宮	16	14	13	43
	千代	8	3	8	19
	白鷗	10	4	6	20
	城北	4	11	14	29
	城山	12	17	8	37
	橋	4	7	7	18
	城南	4	0	7	11
南足柄市	国府津	7	6	5	18
	岡本	5	10	9	24
	足柄台	8	5	6	19
足柄上郡	南足柄	17	8	13	38
	大井町	湘光	7	5	8
	山北町	山北	3	2	5
	開成町	文命	8	9	10
	松田町	松田	4	5	8
	寄	1	0	0	1
	中井町	中井	0	2	3
	湯河原町	湯河原	3	7	4
	真鶴町	真鶴	5	2	2
	箱根町	箱根	2	2	0
足柄下郡	函嶺白百合	0	0	1	1
	本町	6	10	8	24
	東	6	1	4	11
	西	10	15	17	42
	南	9	3	3	15
	北	4	5	3	12
	渋沢	6	5	3	14
	南が丘	5	3	6	14
	大根	4	4	5	13
	鶴巻	7	2	7	16
伊勢原市	伊勢原	7	7	5	19
	山王	1	0	4	5
	中沢	3	5	5	13
	成瀬	5	5	5	15
	二宮町	二宮	6	8	11
中郡	二宮西	7	7	6	20
	国府	2	9	1	12
	大磯町	大磯	9	13	5
	聖ステパノ学園	0	1	0	1
平塚市	浜岳	3	1	1	5
	旭陵	2	0	2	4
	中原	1	1	1	3
	江陽	2	2	1	5

出身中学	学年	1年	2年	3年	合計
平塚市	山城	1	1	1	3
	大野	0	0	1	1
	春日野	1	1	0	2
	太洋	2	3	0	5
	大住	0	0	1	1
	金旭	0	0	0	0
	神明	0	1	1	2
	目金	1	2	2	5
	神田	0	0	1	1
	浜須賀	4	0	2	6
茅ヶ崎市	円蔵	0	0	0	0
	梅田	4	2	1	7
	萩園	0	0	1	1
	第一	0	7	5	12
	鶴嶺	1	1	2	4
	松浪	3	6	0	9
	中島	3	3	1	7
	西浜	2	1	1	4
	松林	1	3	1	5
	赤羽根	0	0	0	0
藤沢市	鶴が台	1	1	0	2
	北陽	1	0	0	1
	寒川	0	1	0	1
	高浜	1	0	0	1
	村岡	4	1	2	7
	明治	0	1	1	2
	鶴沼	2	0	0	2
	湘洋	1	0	2	3
	湘南台	0	1	0	1
	第一	1	0	0	1
鎌倉市	藤ヶ岡	1	0	0	1
	秋葉台	1	0	0	1
	大庭	1	0	0	1
	横浜国大附属鎌倉	1	2	2	5
	厚木	2	0	0	2
	南毛利	6	1	1	8
	玉川	1	1	4	6
	森の里	6	1	4	11
	東名鮎	3	3	1	7
	小鮎	1	0	1	2
厚木市	藤塚	0	0	1	1
	林	0	1	0	1
	相川	1	0	0	1
	海老名	0	1	1	2
	海西	0	1	1	2
	大谷	0	2	0	2
	藤沢市	12	4	5	21
	海老名市	0	5	3	8
	綾瀬市	1	1	0	2
	厚木市	20	7	10	37
海老名市	座間市	0	2	2	4
	相模原市	0	1	2	3
	熱海市	1	1	0	2
	その他	4	0	0	4
	合計	323	316	322	961

出身中学	学年	1年	2年	3年	合計
横浜市	有馬	0	0	1	1
	今泉	0	1	0	1
	相模原	0	1	2	3
	北の台	0	1	0	1
	城山	1	0	0	1
	相模台	0	0	1	1
	相陽	0	0	1	1
	大野南	0	1	0	1
	共進	1	0	0	1
	戸塚	1	0	0	1
横浜市	汲沢	1	0	0	1
	西本郷	1	0	0	1
	星槎	1	0	0	1
	熱海市	多賀	0	1	0
	その他	0	0	2	2
合計	合計	323	316	322	961

(2) 居住地別入学者数

出身中学	学年	1年	2年	3年	合計
小田原市	91	97	103	291	
	31	23	29	83	
足柄上郡	大井町	7	6	8	21
	山北町	3	2	5	10
	開成町	8	9	10	27
	松田町	4	5	8	17
	中井町	0	2	3	5
	湯河原町	2	5	4	11
	箱根町	2	4	1	7
	真鶴町	5	2	2	9
	秦野市	58	49	56	163
	伊勢原市	16	16	19	51
中郡	二宮町	13	15	17	45
	大磯町	11	22	6	39
	平塚市	13	12	14	39
	茅ヶ崎市	21	25	15	61
	高座郡寒川町	0	1	0	1
厚木市	藤沢市	12	4	5	21
	海老名市	0	5	3	8
	綾瀬市	1	1	0	2
	厚木市	20	7	10	37
	座間市	0	2	2	4
	相模原市	0	1	2	3
	熱海市	1	1	0	2
	その他	4	0	0	4
	合計	323	316	322	961

昨年とは異なり、晴天の中行うことができた今年の体育祭。生徒たちの熱い声援がこだまする中、盛大に開催されました。

当日は、「障害物競走」など11種の競技に加え、三年生が大きな円をつくって踊る「フオーケダンス」、そして各団のダンスリーダーが中心となつて練習してきた「応援合戦」など見応えのある体育祭でした。また、朝早くから保護者の方々も多く参観して頂き、温かい雰囲気の中、競技が進んでいきました。

主な結果は次の通りです。Tシャツ部門は橙団、横断幕部門は橙団、応援合戦は黒団がそれぞれ1位となり、競技部門優勝は橙団でした。どの団も非常に素晴らしい内容であり、小田高生のパワーを改めて感じた一日となりました。



平成27年度卒業生進学状況（大学合格者数）

2016年4月11日集計

【国立大学】

大学名	平成28年度入試	
	合計	内現役
北海道	4	1
東北	1	0
茨城	1	1
群馬	1	1
筑波	4	4
埼玉	1	1
千葉	2	1
電気通信	3	1
東京	1	1
東京医科歯科	1	0
東京外国語	1	1
東京学芸	3	3
東京工業	2	1
東京農工	6	3
一橋	1	0
横浜国大	9	8
信州	4	4
静岡	4	2
名古屋	2	1
京都	3	1

【私立大学】

大学名	平成28年度入試	
	合計	内現役
青山学院	48	37
麻布	3	3
大妻女子	4	4
桜美林	3	1
学習院	14	12
学習院女子	2	2
神奈川川	22	20
神奈川工科	6	6
鎌倉女子	6	6
神田外語	1	1
関東学院	6	5
北里	21	17
京都外国语	1	1
京都女子	1	1
京都造形美術	1	1
共立女子	1	1
杏林	5	5
慶應義塾	21	12
工学院	13	4
國學院	12	5
国際医療福祉	6	6
国士館	4	4
駒澤	10	7
相模女子	3	3
産業能率	3	2
実践女子	2	2
芝浦工業	20	13
順天堂	5	5
松陰	1	1
上智	11	6
湘南医療	4	4
湘南工科	1	0

【私立大学】

大学名	平成28年度入試	
	合計	内現役
昭和	4	4
昭和音楽	1	1
昭和女子	6	6
昭和薬科	14	11
女子栄養	1	1
諏訪東京理科	3	1
成蹊	7	2
成城	11	8
聖マリアンナ医科	1	0
聖隸クリストファー	1	1
聖路加国際	1	1
専修	30	22
洗足学園音楽	1	1
大正	1	0
高千穂	1	0
多摩	2	0
玉川	14	13
中央	67	52
津田塾	3	3
帝京	9	8
帝京平成	1	1
デジタルハリウッド	1	1
東海	27	19
東京家政学院	1	1
東京家政	3	3
東京工科	6	6
東京工芸	6	6
東京慈恵会医科大学	1	1
東京女子	1	1
東京女子医科大学	2	2
東京造形	1	1
東京電機	8	4

【私立大学】

大学名	平成28年度入試	
	合計	内現役
東京都市	29	21
東京農業	24	20
東京薬科	10	8
東京理科	29	10
同志社	2	1
東洋	24	13
新潟薬科	1	1
日本本	55	42
日本女子	10	7
日本赤十字看護	1	1
文教	3	1
法政	75	58
星薬科	7	6
武藏野	5	5
明治治	87	57
明治学院	40	29
明治薬科	1	1
明星	6	6
横浜商科	1	1
横浜薬科	5	3
酪農学園	1	1
立教	35	25
立正	3	3
立命館	4	4
立命館アジア太平洋	3	2
早稲田	55	35

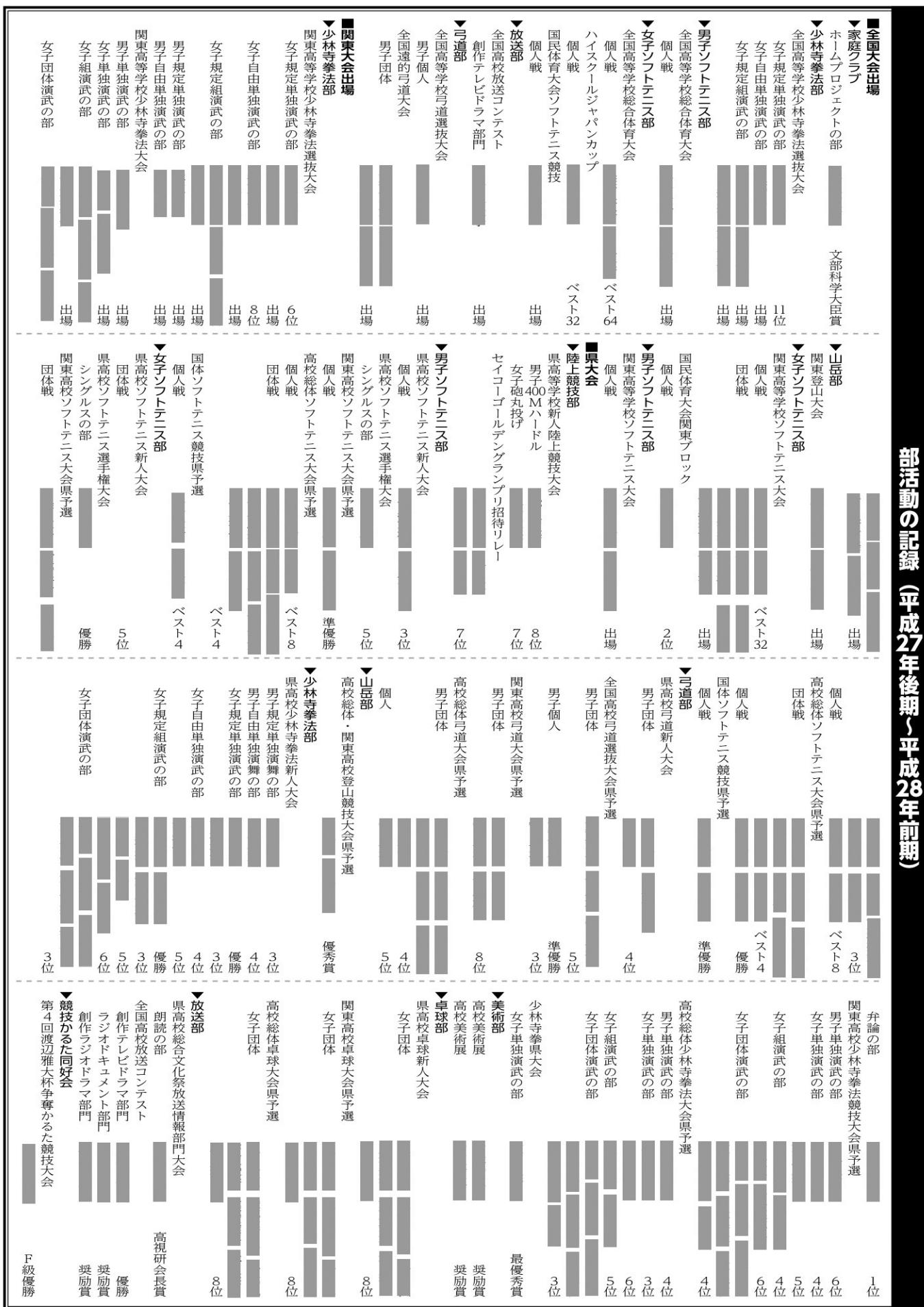
【公立大学】

大学名	平成28年度入試	
	合計	内現役
会津	1	1
高崎経済	1	1
首都大学東京	11	11
県立保健福祉	4	4
横浜市立	6	5
都留文科	2	2
静岡県立	1	1
滋賀県立	1	1

	平成28年度入試	
	合計	内現役
国立大学 計	54	35
公立大学 計	27	26
私立大学 計	1013	739

みんながひとつになつた体育祭

部活動の記録（平成27年後期～平成28年前期）



至誠無息
堅忍不拔



創立明治33年(1900)
開校明治34年(1901)
神奈川県第二中学校



第28号

神奈川県立小田原高等学校
同窓会 櫻友会連絡先
お城越え 二の丸から山上に春一番
電話・FAX 0465-20-3281
メールアドレス
kenyukai@odako.org
私書箱 〒250-8691
日本郵便㈱小田原郵便局
私書箱15号
県立小田原高等学校同窓会
ホームページ <http://odako.org>



2016

小田原高校同窓会 櫻友会ホームページを
ご活用ください

小田原高校同窓会

検索



◆携帯・スマホから
住所変更等を連絡できます

メールは kenyukai@odako.org

同期会、地域・職域同窓会、部OB会などの開催案内をホームページに掲載し、広く参加を呼びかけることができます。

ホームページミングデーの開催の様子をはじめ、同窓会の活動や小田高の写真をご覧になれます。

ホームページから同窓会に住所変更を連絡したり、各種問い合わせをすることができます。

「八幡山」の原稿も募集中です。会費納入もお忘れなく!!